

## 平成 29 年 9 月定例会 まちづくり対策特別委員会委員長報告

39 番 三井 経光でございます。

私から、まちづくり対策特別委員会の報告をいたします。

本委員会は、平成 27 年 10 月に、各地区のまちづくりの課題等を踏まえ、均衡あるまちづくりについて、調査・研究を行うため設置されました。本市を取り巻く社会情勢や都市環境は大きく変化し、今後予想される急激な人口減少や少子高齢化などの問題に対応した、持続可能なまちづくりが求められています。

こうした社会情勢を踏まえ、市はまちづくりの将来ビジョンを定めた長野市都市計画マスタープランを今年 4 月、10 年振りに改定しました。初めに市全体のまちづくりの理念・目標、将来の都市構造や土地利用等分野別の方針を示し、続いて市内 12 地域の特性を生かした地域別街づくり構想を示しています。最後に具体的なまちづくりに反映させるための考え方や主な施策を明示し、その実現が期待されるところであります。

本委員会では、都市計画マスタープランの進捗状況や課題等について、重点的に調査を重ねるとともに、コンパクトなまちづくりを実現するアクションプランである立地適正化計画についても調査を行いました。

また、今後改定予定の権堂地区再生計画及び中心市街地活性化プラン等、中心市街地の現状と課題についても調査を行いました。大型商業施設の整備にあたっては、公金投入に対して慎重な意見が委員の中にもありましたが、5 月には権堂地区の活性化に取り組んでおられる方々との意見交換会を開催し、権堂地区の現状や大型商業施設の展開、ワークショップ等地域の取組状況について、現状を認識するとともに、活発な意見を交わすことができました。

この 1 年間を振り返り、本委員会において出されました意見の中から主な 2 点を申し上げます。

1 点目は、計画策定後の進捗管理の在り方です。

都市計画マスタープランでは、本市が目指す街づくりの目標の 1 つに「誰もが住

「みやすく移動しやすいコンパクトな街」を掲げ、コンパクトシティ・プラス・ネットワークによるまちづくりを目指すことを主眼に置いております。今後、コンパクトな街を具現化していく中で、公共施設の再配置、公共交通の再編・維持は避けて通ることができない課題であります。そのため、現在、市で策定している公共施設等総合管理計画、地域公共交通網形成計画、それぞれの計画と、小さな拠点づくりが整合されるよう、あるいは公共交通ネットワークが維持されるよう、まちづくりの観点からしっかり関与することが必要不可欠です。

計画の策定時には、関係部局間でその都度会議をして連携をしてお聞きしましたが、策定後も関連計画との整合性、進捗状況等について課題や今後の対策を共有するためにも関係部局との継続的な連携が求められます。第五次長野市総合計画では重点施策推進本部を立ち上げて関係部局の連携、進捗管理を行うという1つの枠組みがあります。都市計画マスタープランを初めとした各種計画においても、同様の取組を関係部局と連携し、進めるよう要望しました。

2点目は市民意見の吸い上げと施策への反映であります。

都市計画マスタープランの役割の1つに、市民のまちづくりへの理解と参加とあります。目標とするまちの将来ビジョンを明確にすることで、まちづくりの主体である市民と行政が、まちの将来像の共有を図り、協働して取り組むことができます。今回の都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定にあたってなされたパブリックコメントの件数は、9人の方から14件の意見が寄せられたというものでした。改定にあたり市民アンケートを実施するなど、様々な意見の把握に努められていることは承知しておりますが、より多くの市民が関心を持つような仕組みづくりが求められます。

今後改定される、権堂地区再生計画や中心市街地活性化プランに位置付けられる事業の実施に際しても、全市民的な理解を得るためには、実現可能性が担保された事業計画を明らかにした上で、幅広い市民の意見を聴くという姿勢が必要です。既定のパブリックコメントだけではなく、様々な場を捉えて意見を聴くよう要望しました。

市民の意見に耳を傾ける姿勢は議会側も求められております。議会活性化の新たな

な試みとして今年7月に開催されました「市民と議会の意見交換会」では、中心市街地と中山間地域のまちづくりについて、市民の皆さんから貴重な御意見をお聴きすることができました。その一部を御紹介いたします。

日々の暮らしの視点で、その地域に住む人々を応援する形のまちづくりをして欲しい。活性化には担い手は必要であり、人をいかに育てるかという視点が各種計画に欠けているので、一緒に考えて欲しい。中心市街地や中山間地域だけではなく、その間にある市街地近郊地区にも目を向けたきめ細かな対策が必要ではないか。合併地区の住民が、中心市街地を自分たちのまちと思えるような、中山間地域と中心市街地を結び付ける施策を展開することが大事である。

いずれの御意見も、これからのまちづくりを考えていく上で非常に大切な視点であります。本委員会としては、こうした御意見を踏まえ、バランスある市の発展のためにどのようにしていくべきか、今後も調査研究を続けてまいります。

以上で報告を終わります。